

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】1 家庭・地域の教育力の向上

【施策の柱】(1)家庭への支援

細 施 策	①家庭教育の支援			担当課	担当課評価
				地域教育支援課	B
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児の親や小・中学校、高等学校の保護者を対象に、子どもの成長・発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会を提供します。</li> <li>・身近な地域や学校をはじめとする豊かなつながりの中で家庭教育が行われるよう、指導者の養成に努めます。</li> </ul>				
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	今後も引き続き、市内保育園や幼稚園に充実した内容の家庭教育講座を提供し、小・中学校単位PTAへも家庭教育学級委託事業を行い、家庭の教育力の向上を図ります。 また、家庭教育講座講師に対して研修会を行い、資質の向上を図ります。				
令 和 2 年 度 績	令和2年度は、家庭教育学級の委託事業や保育園・幼稚園・高校家庭教育講座の開催を企画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業を中止しました。 ・親の学習講座：25回(参加者数2,426人)				
成 果 実 績		H30	R1	R2	
	保・幼・高家庭教育講座(回)	22	25	開催中止	
	PTA家庭教育学級委託数(校)	54	54	開催中止	
現 状 ・ 課 題	これまで順調に進捗していましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、親の学習講座以外は中止しました。				
改 善 の 方 策 等	引き続き、市内保育園や幼稚園に充実した内容の家庭教育講座を提供し、地域の実情に合わせて運営できるように、小・中学校単位PTAへも家庭教育学級の運営支援を行い、家庭の教育力の向上を図ります。 また、家庭教育講座講師に対して研修会を行い、資質の向上を図ります。				

細 施 策	②学童保育の充実			担当課	担当課評価
				教育財務課	B
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の就労等により家庭が常時留守になっている児童を対象に、放課後及び休日等の居場所を確保するとともに、児童の健全育成を図ります。</li> <li>・学童保育室の整備、改修等を行い、保育環境の改善を図ります。</li> <li>・放課後児童支援員(学童保育指導員)の確保と資質の向上に努めます。</li> </ul>				
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭あい化した学童保育室については、川越市総合計画実施計画に位置付け、増築、余裕教室の転用を行っていきます。</li> <li>・放課後児童支援員等の募集方法等を工夫し、より働きやすい勤務条件を関係課と協議するなど、放課後児童支援員等の確保に努めます。</li> </ul>				
令 和 2 年 度 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初の学童保育室を利用する児童数は3,066人でした。(全児童に占める割合は17%、入室を待機している児童はいない)</li> <li>・狭あい化対応として中央学童保育室の拡張及び高階南学童保育室の増室を行いました。また、川越学童保育室及び新宿学童保育室のトイレの改修工事を行いました。</li> <li>・正規職員11人を採用しました。</li> <li>・放課後児童支援員等24人が認定資格研修を受講しました。</li> </ul>				
成 果 実 績	項目名(単位)	H30	R1	R2	
	年度当初の入室児童数(人)	2,708	2,911	3,066	
	学童保育室施設設備等の工事、修繕数(件)	142	106	154	
	放課後児童支援員認定資格研修受講者数(人)	37	37	24	
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童を出さずに対応できているという面では、おおむね順調に進捗していますが、入室児童数が年々増加しているため、保育スペース及び放課後児童支援員等の確保について課題があります。</li> <li>・35人学級の実施や特別支援学級の増に伴う転用可能な教室確保への調整が必要です。</li> <li>・約3分の2の施設が建築から20年以上経過していることから、施設自体の維持のみならず、改築も視野に入れた施設管理を行う時期にきています。</li> <li>・放課後児童支援員等の質及び意識のさらなる向上が必要です。</li> </ul>				
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭あい化した学童保育室について川越市総合計画実施計画に位置付け、増築、余裕教室の転用を行っていきます。</li> <li>・放課後児童支援員等の募集方法等を工夫し、より働きやすい勤務条件を関係課と協議するなど、放課後児童支援員等の確保に努めるとともに、研修等により質及び意識の向上に努めます。</li> </ul>				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	(1) 家庭への支援					
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価	
			細施策	施策の柱		
	①家庭教育の支援	地域教育支援課	B	B		B
	②学童保育の充実	教育財務課	B			
学識経験者等 意見等	家庭教育講座については、参加が増えるよう、授業参観とその後に行われる懇談会の間にミニ講座のようなものを入れてみたらどうかと考える。				B	

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】1 家庭・地域の教育力の向上

【施策の柱】(2)地域の教育力の向上

細 施 策	①学校・家庭・地域の連携推進							担当課	担当課評価
								地域教育支援課	B
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・家庭・地域の連携・協働により、地域ぐるみの教育の充実に努めます。</li> <li>・地域の特色を生かした体験活動と学校応援団活動の充実に努めます。</li> <li>・子どもたちの「生きる力」を育むため、家庭や地域の教育力の向上に努めます。</li> <li>・「放課後子供教室」の実施に向けた検討を進めます。</li> </ul>								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区サポート委員の人材発掘については、各種団体との連携・協働の中で、委員会への加入についての働きかけを支援していきます。</li> <li>・「放課後子供教室」の実施に向けた検討を進めるため、令和2年度、小学校1校、公民館1館での試行的実施に取り組みます。</li> </ul>								
令 和 2 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもサポート委員会によるイベント型事業数22件(延べ参加者数292人)</li> <li>・子どもサポート委員会による学校応援団活動数27件(延べ参加者数1,155人)</li> <li>・子どもサポート委員会開催数52回(延べ参加者数989人)</li> <li>・放課後子供教室を試行的に2小学校・1公民館で実施(22回活動、延べ参加者数619人)</li> </ul>								
指 標 及 び 説 明	【指標】 子どもサポート事業への参加者数				【説明】 市内14地区の子どもサポート事業への参加者数				
指 標 の 推 移	単 位	基 準 値 (H26)	実 績 値					目 標 値 (R2)	
	人	32,935	H27 41,765	H28 50,841	H29 43,368	H30 40,989	R1 37,690	R2 1,447	33,330
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもサポート事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの事業が中止となり、事業を展開できた地区はわずかでした。しかし、そのような状況の中でも、各地区が学校及び社会教育施設等と連携し、世の中の状況・子ども達の現状に即した活動の検討を進め、形態や内容の検討を続けました。</li> <li>・各地区サポート委員の人材発掘・育成が課題となっています。</li> <li>・放課後子供教室の試行的実施については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた回数の実施ができず、十分な検証が行えませんでした。</li> </ul>								
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもサポート事業については、「新しい生活様式」に則った事業の展開方法を検討します。</li> <li>・各種団体との連携・協働の中で人材発掘を行うとともに、委員会への加入についての働きかけを支援していきます。</li> <li>・放課後子供教室については、「新しい生活様式」に則った実施方法を検討し、地域の実情に合った多様な放課後子供教室の実施に向け、令和3年度は小学校3校、公民館2館で試行的実施及び検証に取り組みます。</li> </ul>								

細 施 策	②社会教育関係団体への支援				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	B
施 策 の 内 容	子どもたちの学びや体験活動の充実に図るため、PTAや子ども会育成会などの社会教育関係団体の活動を支援します。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川越市PTA連合会に対し、今後も引き続き同様の支援を行います。</li> <li>・川越市子ども会育成団体連絡協議会に対し、今後も引き続き同様の支援を行います。</li> </ul>					
令 和 2 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA: 広報紙「P連かわごえ」を年3回発行(7月、12月、3月)し、広報紙コンクールを開催しました。PTA講演会は会場とオンラインの二通りの開催としましたが、PTA研究集会は中止となりました。</li> <li>・市子連: 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、広報誌「ひろば」が年1回発行(1月)となりました。ジュニアリーダー役員会も年1回の開催のみとなりました。例年開催していました川越市子どもかるた大会、育成者研修会、県外視察研修については中止となりました。</li> </ul>					
成 果 実 績	項 目 名 (単 位)		H30	R1	R2	
	川越市PTA講演会参加者数(人)		336	244	60	
		川越市ジュニアリーダースクラブの登録者数(人)	365	368	337	
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川越市PTA連合会事業は、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、広報紙発行と広報紙コンクールの開催は計画どおりでしたが、講演会等は開催方法等を工夫して一部事業を実施しました。</li> <li>・川越市子ども会育成団体連絡協議会事業は、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、ほぼすべての事業が縮小または中止となりました。</li> </ul>					
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川越市PTA連合会に対し、引き続き同様の支援を行います。</li> <li>・川越市子ども会育成団体連絡協議会に対し、引き続き同様の支援を行います。</li> </ul>					

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】1 家庭・地域の教育力の向上

【施策の柱】(2)地域の教育力の向上

細 施 策	③地域の教育活動への支援							担当課	担当課評価
								中央公民館	C
施 策 の 内 容	町内(字町)公民館講座や公民館登録グループの公開講座等の開設を支援するとともに、各種団体との連携による活動を通じ、地域の教育活動を支援します。								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな公民館登録グループが結成できるよう、新規事業を企画したり、既存の団体等をさらに支援していきます。</li> <li>・放課後の児童や生徒を受け入れていくための事業の計画やしきみづくりなども検討していきます。</li> </ul> 参考:平成30年度の土日実施率42.5%⇒令和元年度の土日実施率43.7%								
令 和 2 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな公民館登録グループを増やすため、既存の公民館利用団体に対する公民館登録グループ制度の周知についての取組を強化しました。(窓口での貼り紙掲示、公民館講座「登録グループって何?」の開催)</li> <li>・新規事業として、空き部屋を活用した児童・生徒の自主学習等の場づくりを立ち上げ、延べ171人が参加しました。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための事業中止等により、令和元年度実績よりも大きく減少しました。準備等を行っていたものの開催に至らなかった事業数を含めても122事業を予定していました。</li> </ul>								
指 標 及 び 説 明	【指標】 講座数及び講座参加者数				【説明】 公民館登録グループの公開講座等の講座数及び参加者延べ人数				
指 標 の 推 移	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
	講座	292	H27 280	H28 237	H29 256	H30 226	R1 247	R2 35	300
	人	24,907	29,306	28,087	29,809	25,434	26,058	1,565	25,000
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館登録グループはこの1年で33団体減少の計432団体となり、メンバーの高齢化による団体の解散が主な理由となっています。</li> <li>・町内公民館補助金については、交付申請額を予算額に応じて一律に按分する方式を採っているため、対象が固定化、硬直化しており、効果的な交付のしきみについても検討する必要があります。</li> </ul>								
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規の登録グループを増やすための取組みを令和2年度に引き続き実施し、あわせて公民館登録グループに対する新たなメリットについて検討します。また、現状分析を踏まえ、若年層の利用者に対する働きかけを行います。</li> <li>・町内公民館補助金について、限られた予算を有効に活用するために、一定の要件を満たす町内公民館に対してより多く配分する傾斜配分方式を導入します。</li> </ul>								

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】1 家庭・地域の教育力の向上

施 策 の 柱	(2)地域の教育力の向上				
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①学校・家庭・地域の連携推進	地域教育支援課	B	B	
	②社会教育関係団体への支援	地域教育支援課	B		
③地域の教育活動への支援	中央公民館	C			
学 識 経 験 者 意 見 等	放課後子供教室については、子どもサポート事業とも連携しながら、幅広い体験学習ができるようにしていただきたい。				B

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】(1)生涯学習を推進する基礎づくり

細 施 策	①生涯学習を推進するための体制の充実	担当課		担当課評価
		文化芸術振興課・中央公民館		C
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が利用しやすい「市民活動・生涯学習施設」の充実に努めます。</li> <li>・市民の生涯学習活動を支援する職員の意識啓発や資質を高めるための研修を実施します。</li> <li>・協働に関する研修を実施し、市民と行政が連携した事業の推進を図ります。</li> </ul>			
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①指定管理者と連携し、生涯学習講座の内容の更なる充実に図り、より多くの市民が利用する施設となるよう、引き続き稼働率の向上に努めます。</li> <li>②事業を効果的かつ効率的に実施するため、他課の類似研修との共催化を検討します。また、令和元年度は、第5回目が新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、魅力的な講座企画を行うための研修を新設しましたので、引き続き内容の充実に努めます。</li> <li>③研修の実施内容を工夫し、市民団体と交流する場を持つことによって、行政側も協働の意識を高めていけるものにする必要があります。</li> </ul>			
令和2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「市民活動・生涯学習施設」において、指定管理者による提案事業講座を年間400時間予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。そのためコロナ禍においても提案事業講座を開催できるように指定管理者と協議を行いました。</li> <li>②公民館職員研修の一部について地域教育支援課との共催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催にいたりませんでした。一方で、公民館事業における優良事例を学ぶ研修を新たに開催し、効率的・魅力的な講座企画を行うためのノウハウを職員間で共有することができました。</li> <li>③新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、協働団体の報告会は公開とせず、審査委員会での報告に止め、職員研修は実施しませんでした。報告会の模様は市ホームページから動画配信しました。</li> </ul>			
成果実績	項目名(単位)	H30	R1	R2
	市民活動・生涯学習施設平均稼働率(%)	65.8	66.5	38.2
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新型コロナウイルス感染症拡大防止のための施設の利用制限や、提案講座を実施できなかったこともあり、市民活動・生涯学習施設の平均稼働率が大きく下がりました。今後は新型コロナウイルス対策を徹底し、安心して利用できる施設の運営を行う必要があります。</li> <li>②研修は1日単位となることが多く、少人数の職場である公民館は職務の都合等で参加者が少なくなることもあり、令和3年度以降もその傾向が継続することが懸念されます。</li> <li>③事業報告会において、コロナ禍での協働や市民活動の難しさや、活動の工夫を議論することができました。その模様を市ホームページから動画配信することにより、多くの市民に知っていただく機会を提供できました。また、職員の協働意識の向上にも効果が期待できます。</li> </ul>			
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①指定管理者と連携し、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、市民のニーズに応じた内容の講座を開催することにより、より多くの市民が利用する施設となるよう、引き続き稼働率の向上に努めます。</li> <li>②より多くの公民館職員が参加できるように、開催時間や方法、形式を見直します。</li> <li>③コロナ禍であっても、行政の協働意識の向上を図るため、オンラインを活用した市民活動団体の情報発信によるネットワークを充実させ、職員が容易に情報に触れられる環境の整備が必要です。</li> </ul>			

細 施 策	②市民参加の体制の充実	担当課		担当課評価
		文化芸術振興課・中央公民館		B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民と行政の情報交換や相互交流を充実させ、行政の事業等に参加しやすい体制の充実に努めます。</li> <li>・市民と行政との協働を効果的に達成するため、「協働推進事業制度」を積極的に推進します。</li> <li>・地域活動を推進する人材の発掘に努めます。</li> </ul>			
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①公民館運営協力委員会において、各公民館事業に関して、計画・実施・評価・改善を行っていきためのしくみづくりを検討していきます。</li> <li>②情報誌の紙面及び広報の拡充を図り、協働事業の魅力を広く市民に伝え、事業への参加意向の掘り起こしに努めます。</li> <li>③市民講師(主宰者)募集については、様々な媒体による広報の充実に図り、講座の主宰者数の増加に努めます。</li> </ul>			
令和2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>①公民館運営審議会にて、公民館運営協力委員会を活用した公民館事業改善のための取組みについて論議し、提出された答申書を踏まえ、令和3年度から一部実施していきます。</li> <li>②提案型協働事業補助金は当初10件の応募があったものの、コロナ禍の状況から内容を精査し応募団体に再考を促した結果、2件の応募となり、これを採択し協働実施しました。</li> <li>③市民講座講師募集に対し、前期35件、後期23件の応募がありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全講座中止しました。</li> </ul>			
成果実績	項目名(単位)	H30	R1	R2
	提案型協働事業補助金応募件数(件)	8	11	2
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①公民館運営協力委員会は年間2回の開催が多く、公民館による報告、公民館利用団体等の情報交換の場に留まっています。</li> <li>②コロナ禍の状況でも、実施可能な協働事業や市民活動を支援する必要があります。また、オンラインを活用した情報発信を充実することで、市民活動への参加のきっかけづくりに努めます。</li> <li>③市民講座講師は例年入れ替わりが少ないため、新規の講師応募につなげるよう広報の充実に図る必要があります。また、令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策を行いながら市民講座を開催できるよう、募集人数等の調整を行っています。</li> </ul>			
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①公民館運営協力委員会の中で、前年度に実施した事業について意見を聴取し、事業の見直しに生かすことができるよう、委員会の開催回数を増やします。</li> <li>②魅力的な活動を行う市民団体の情報を動画や写真でホームページにて公開することにより広く市民に伝え、市民活動への参加意向の掘り起こしに努めます。</li> <li>③新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心して受講できる講座を開催する必要があります。また、市民講師(主宰者)募集については効率的な広報活動を行い、講座の主宰者数の増加に努めます。</li> </ul>			

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(1)生涯学習を推進する基礎づくり			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①生涯学習を推進するための体制の充実	文化芸術振興課 中央公民館	C	B	B
	②市民参加の体制の充実	文化芸術振興課 中央公民館	B		
学識経験者等 意見	<p>・公民館職員の研修において、優良事例を学び、講座企画のノウハウを共有することはよい取組だと思うので、今後、オンラインでも参加できるようにするなど、公民館で偏らないようにしていただきたい。</p> <p>・市民が事業を主催する際のコロナ対策については、実施前の周知徹底だけではなく、事業を実施している最中や実施後についても、対策が行われているか確認していただきたい。</p> <p>・オンラインによる事業などICTを活用した事業実施について、市職員と市民団体が一緒になって研修するなど、コロナ禍のような状況にも対応できるよう検討していただきたい。</p> <p>・オンラインを活用した事業は、施設で行う事業を補完するものとして捉えるだけではなく、オンラインの利点を利活用した生涯学習を推進するための体制の充実も考えていただきたい。</p>				B

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】(2)市民の学習ニーズの把握及び生涯学習情報の充実

細 施 策	①学習ニーズの把握				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	C
施 策 の 内 容	市民意識調査や講座受講後の満足度調査等、各種アンケート等の調査活動を実施し、市民の学習ニーズの把握に努めます。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	川越大学間連携講座の受講生に対するアンケートを引き続き実施するとともに、市民講座でもアンケートを実施し、市民の学習ニーズの把握に努めます。					
令 和 2 年 度 実 績	市内4大学との大学間連携講座及び市民講座の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各講座等が中止となり、アンケートを実施できませんでした。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H30	R1	R2		
	アンケート調査実施回数(回)	5	5	対象事業中止		
現 状 ・ 課 題	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座等が中止となり、アンケートを実施できませんでした。令和3年度はコロナ禍においても川越大学間連携講座を開催し、学習ニーズに関するアンケート調査を実施できるように、大学等と協議を行いました。					
改 善 の 方 策 等	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し講座を開講することで、学習ニーズに関するアンケート調査が実施できる環境が整えられるよう努めます。					

細 施 策	②市民が利用しやすい生涯学習情報の提供				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	C
施 策 の 内 容	生涯学習情報誌「マナビガイド」の発行や、ホームページやSNS等を活用した情報提供を行います。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	「マナビガイド」について、新型コロナウイルス感染症の影響により休刊となったことから、より効果的な情報提供について検討します。また、ホームページやSNS、さらにメール配信サービスにより情報発信し、生涯学習情報の幅広い提供に努めます。					
令 和 2 年 度 実 績	マナビガイドについては、令和2年7月号までは新型コロナウイルス感染症の影響で休刊となりましたが、8月号から発行を再開しました。令和2年度から新たに地域包括ケア支援センターへの配架を行い、配布箇所数が合計61箇所になりました。 ホームページやSNS等を活用した情報提供については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種事業等が中止となり、発信回数が減少しました。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H30	R1	R2		
	生涯学習情報誌マナビガイド配布箇所数(箇所)	50	50	61		
現 状 ・ 課 題	令和2年度に実施したマナビガイドの残部数調査の結果、残部率が高く、紙媒体での生涯学習情報収集ニーズが低いことが分かったので、より効果的な生涯学習情報の提供が必要となります。					
改 善 の 方 策 等	今後は紙媒体ではなくホームページ等での情報発信を主とし、ホームページの周知方法を検討することで、広く市民に生涯学習に関する情報提供ができるよう努めます。					

【方向性】 II - 活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(2) 市民の学習ニーズの把握及び生涯学習情報の充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①学習ニーズの把握	文化芸術振興課	C	C	C
	②市民が利用しやすい生涯学習情報の提供	文化芸術振興課	C		
学識経験者等 意見	<p>・学習ニーズの把握やニーズに応えた情報提供については、施設において行うだけでなく、施設に出かけなくてもニーズを把握したり、情報を得られたりするようなしくみを考えていただきたい。また、SNSについても単に発信するだけでなく、どうやったらそのSNSに触れてくれるのか考えていただきたい。</p> <p>・市民の関心がある事項にピンポイントで情報を提供できるようなしくみを考えていただきたい。</p> <p>・市ホームページにおいて、市民が生涯学習情報にたどり着きやすくなるよう工夫していただきたい。</p>				C



細 施 策	①ライフステージにおける課題の学習				担当課	担当課評価
					中央公民館	C
施 策 の 内 容	乳幼児の心と体を育むことをねらいとした子育て講座等、生涯の各時期に生じる課題の学習活動の提供に取り組むとともに、さらなる学習機会の充実・提供に努めます。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	高齢者や子育て世代だけでなく、夏休みなどの長期休暇等に実施している青少年教育にも力を入れていきたいと考えています。					
令 和 2 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・51事業3,015名が参加しました。そのうち少年教育は7事業で、うち5事業を夏休みに開催しました。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実績としては大きく減少しました。なお、準備等を行っていたものの開催に至らなかった事業数を含めると164事業であり、令和元年度実績の171事業と同等の事業を予定していました。</li> </ul>					
成 果 実 績	項目名(単位)	H30	R1	R2		
	ライフステージにおける課題の学習の公民館主催事業参加者数	34,293	31,476	3,015		
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の公民館事業が集散的、対面的手法を採用してきたことから、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けています。</li> <li>・令和3年度の報償費予算が厳しいこと等から、より効果的・効率的な事業の計画・実施を展開する必要があります。</li> </ul>					
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響を受けにくい事業手法のあり方を検討します。</li> <li>・限られた予算の中でも、少年、子育て世帯、高齢者に対しては地域での学習機会の提供を維持できるよう、これらを重点事業と定め、全公民館で優先的に実施します。</li> </ul>					

細 施 策	②現代的課題の学習				担当課	担当課評価			
					中央公民館	C			
施 策 の 内 容	社会的に要請されている環境学習、情報学習、人権学習等のような現代的課題の学習活動の提供に取り組むとともに、さらなる学習機会の充実・提供に努めます。								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	新規の講座等を実施し、新たな公民館利用者の参加を促すとともに、より多くの人が参加できるようしくみづくりを構築していきます。								
令 和 2 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・52事業1,726名が参加しました。そのうち新規講座は3事業開催し、延べ参加者は61人でした。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための事業中止等により、令和元年度実績よりも大きく減少しております。なお、準備等を行っていたものの開催に至らなかった事業数を含めると118事業であり、令和元年度実績の130事業と同等の事業を企画していました。</li> </ul>								
指 標 ・ 説 明	【指標】 公民館主催事業の講座数及び講座参加者数			【説明】 公民館主催事業の講座数及び講座参加者延べ人数					
指 標 の 推 移	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
	講座	128	H27 130	H28 103	H29 107	H30 128	R1 130	R2 52	130
	人	20,152	17,963	7,609	7,220	8,308	7,474	1,726	21,000
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の公民館事業が集散的、対面的手法を採用してきたことから、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けています。</li> <li>・令和3年度の報償費予算が厳しいこと等から、より効果的・効率的な事業の計画・実施を展開する必要があります。</li> <li>※平成28年度から事業の一部(子育てサロン等)をライフステージにおける課題の学習の実績としているため、基準値と平成28年度以降の実績値の差が大きくなっています。</li> </ul>								
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響を受けにくい事業手法のあり方を検討します。</li> <li>・限られた予算を有効に活用するために、各地域で重点的に取り組む分野を明確にし、メリハリをつけて事業を実施します。</li> </ul>								

【方向性】 II ー活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(3) 社会の変化に応じた学習機会の提供			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①ライフステージにおける課題の学習	中央公民館	C	C	C
	②現代的課題の学習	中央公民館	C		
学識経験者等	<p>・公民館事業については、オンラインではなく、公民館施設で、対面でなければできないようなものに特化したほうがよいと考える。</p> <p>・青年期においても公民館活動に関われるようなしくみを検討していただきたい。</p> <p>・講座については、子育てや高齢者に関する所管課など、市役所内での横の連携をとりながら講座を開いていただけるとよいと考える。</p> <p>・現代的課題の学習については、地域によって課題が全く違うので、地域の市民団体と連携して、一緒に解決していけるように取り組んでいただきたい。</p>				C

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】 (4)人権施策の推進

細 施 策	①人権教育の充実				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	B
施策の内容	・人権教育の一環として、児童生徒による人権作文・人権標語・人権絵画の取組を通して人権意識の高揚に努めます。 ・人権教育推進事業を公民館・小学校・中学校に委嘱するとともに、人権教育実践報告会やPTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会を実施し、同和問題などの人権問題の解決を目指します。					
前年度の改善の方策等	更に公民館区で学校・家庭・地域が一体となって人権教育の充実に努めます。					
令和2年度実績	・人権文集「あけぼの」作成と文集を活用した授業の推進 ・人権絵画展「いのち・こころを大切に」の開催 3日間278人 ・人権教育推進事業の委嘱館・委嘱校の実践や授業研究の記録などをまとめた「川越市の人権教育」(人権教育実践集録)を刊行 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人権教育実践報告会を中止としたため、作文発表は未実施					
成果実績	項目名(単位)	H30	R1	R2		
	人権作文・標語・絵画応募総数(点)	772	755	530		
	委嘱小・中学校数(校)	11	11	11		
現状・課題	・人権作文・人権絵画については、優秀な作品を人権文集「あけぼの」に掲載し、人権教育啓発資料として活用しました。人権標語については、募集時期と学校の臨時休業と重なったため実施していません。 ・「川越市の人権教育」(人権教育実践集録)を人権教育推進資料として活用できたことなど、おおむね順調に進捗しています。					
改善の方策等	更に公民館区で学校・家庭・地域が一体となって人権教育の充実に努めます。					

細 施 策	②人権啓発資料の活用				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	B
施策の内容	各種人権啓発資料を作成するとともに、児童生徒をはじめ市民に配布することで人権意識の高揚に努めます。					
前年度の改善の方策等	今後も人権啓発資料の活用に努めます。					
令和2年度実績	・人権文集「あけぼの」発行 3,000部 ・人権カレンダー発行 40,000部 ・川越市人権教育推進協議会広報紙「人権かわごえ」発行(年2回) 30,000部					
成果実績	項目名(単位)	H30	R1	R2		
	川越市PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会参加者数(人)	237	240	開催中止		
	人権カレンダー発行(部)	40,000	40,000	40,000		
現状・課題	人権教育啓発資料は、児童生徒に対しては学校の授業で、保護者に対してはPTA家庭教育学級で、そして一般の市民の方に対しては、公民館の人権教育指導者養成講座で、それぞれ活用しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、川越市PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会を中止しましたが、令和3年度は「新しい生活様式」の中で、開催形態や内容等を工夫する必要があります。					
改善の方策等	今後も人権啓発資料の積極的な活用に努めます。また、川越市PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会については、「新しい生活様式」に準じて、参加者の安全を第一に考えた上で、開催できるように努めます。					

細 施 策	③人権教育指導者の養成				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	B
施 策 の 内 容	家庭や職場、地域社会における人権問題の解決を目指して、PTA家庭教育学級の人権教育講座や公民館の人権教育指導者養成講座を開催し、身近な人権教育指導者の養成を図ります。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	引き続き、地域の教育活動が活発になるよう、地域における人権教育活動団体の教育事業、啓発活動等を支援・連携していきます。					
令 和 2 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館における人権教育指導者養成講座の実施(18公民館で実施 31講座 参加者607人)</li> <li>・小堤集会所事業:人権教育指導者養成講座の実施(5回 参加者数76人)</li> </ul>					
成 果 実 績	項目名(単位)	H30	R1	R2		
	公民館における人権教育指導者養成講座参加者数	3,692	3,732	607		
	小堤集会所事業:人権教育指導者養成講座参加者数	175	169	76		
現 状 ・ 課 題	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座数、参加者数共に大幅に減少しましたが、令和3年度は「新しい生活様式」の中で、開催形態や内容等を工夫する必要があります。					
改 善 の 方 策 等	地域の教育活動がさらに活発になるよう、また、地域における人権教育活動団体の教育事業、啓発活動等により人権教育指導者の研修会が充実するような支援・連携を深めます。					

細 施 策	④関係機関・団体等との連携				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	B
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権意識の高揚と差別意識の解消のため、関係機関や団体等と連携した教育活動を推進します。</li> <li>・自治会等と連携した教育活動を推進し、地域内の交流を深めるとともに、学習の場としての集会所事業を推進します。</li> </ul>					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	今後も地域内の交流を更に深めるために自治会との連携を密にするとともに、集会所運営委員会、協力委員会で協議を重ね、事業内容等の充実を努めます。					
令 和 2 年 度 実 績	集会所事業として、青少年を対象に習字教室(参加人数372人)を開催しましたが、それ以外の講座・教室・ふれあいまつり等は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止にしました。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H30	R1	R2		
	集会所事業 講座・教室参加者数(人)	2,700	2,363	372		
	ふれあいまつり参加者数(人)	318	284	開催中止		
現 状 ・ 課 題	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの講座や教室、ふれあいまつりが実施できませんでしたが、令和3年度は「新しい生活様式」の中で、開催形態や内容等を工夫する必要があります。					
改 善 の 方 策 等	今後も地域内の交流をさらに深めるために、自治会との連携を密にするとともに、集会所運営委員会、協力委員会で「新しい生活様式」に準じた取組内容の協議を重ね、参加者の安全を第一に考えた事業内容を展開し、充実したものとなるように努めます。					

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(4) 人権施策の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①人権教育の充実	地域教育支援課	B	B	B
	②人権啓発資料の活用	地域教育支援課	B		
	③人権教育指導者の養成	地域教育支援課	B		
	④関係機関・団体等との連携	地域教育支援課	B		
学識経験者等 意見	人権教育指導者の養成については、人権問題は身近な問題でもあるので、指導者を増やすだけでなく、活躍の場も増えるとよいと考える。				B

細 施 策	①公民館の設置				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	B
施 策 の 内 容	身近な学習施設としての公民館の建設を推進します。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・霞ヶ関北公民館整備推進については、建設検討懇話会の提言書を尊重し、地域住民のご意見を伺いながら、公民館移転に向けて庁内で検討を進めるとともに、基本構想の策定及び地質調査を実施します。</li> <li>・(仮称)西公民館建設推進については、地域住民のご意見を伺いながら、庁内で検討を進めます。</li> </ul>					
令 和 2 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・霞ヶ関北公民館整備推進については、当該地域の住民の代表に委嘱し組織した、検討懇話会、建設検討懇話会の提言を基に、当該公民館の移転整備に係る基本構想を策定しました。また、建設予定地には、応急福祉仮設住宅があることから、樹木の管理を行いました。</li> <li>・(仮称)西公民館建設推進については、関係自治会長会議(3回)において、当該公民館の建設について検討を行いました。</li> </ul>					
成 果 実 績	項目名(単位)	H30	R1	R2		
	設計業務委託契約の本数(件)	—	—	—		
	建設工事請負契約の本数(件)	4	—	—		
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・霞ヶ関北公民館整備推進：平成25年7月に建設検討懇話会から提言書が提出されており、令和2年度は、基本構想を策定しました。令和3年度には、移転整備に係る調査を実施する予定です。</li> <li>※移転予定地には、現在、応急仮設住宅が設置されています。</li> <li>・(仮称)西公民館建設推進：平成26年6月に検討懇話会から提言書が提出されました。現在は、関係自治会長会議等において地元の意見の集約を行っています。</li> </ul>					
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度に霞ヶ関北公民館整備推進に係る基本構想を策定したので、令和3年度末に応急福祉仮設住宅用地としての貸与期間が終了後、移転整備が進むよう庁内で調整を図ります。</li> <li>・(仮称)西公民館建設推進については、引き続き地域住民のご意見を伺いながら、庁内で検討を進めます。</li> </ul>					

細 施 策	②既存公民館の整備・運営				担当課	担当課評価
					中央公民館	B
施 策 の 内 容	既存の公民館については、大規模改修工事等を計画的に実施し、利用しやすい学習施設となるよう整備運営に努めます。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	令和2年度改訂予定の公共施設等総合管理計画及び同年度策定の「公民館等における個別施設計画」に基づき、計画的かつ効果的に修繕や工事を実施していきます。					
令 和 2 年 度 績 実	計画修繕は、26件中14件の実施をしており、53.8%の実施率です。突発修繕は、99件実施しています。よって、125件中113件の修繕を行っており、要望件数の90.4%を実施しています。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H30	R1	R2		
	修繕要望件数の実施率(%)	84	96	90		
現 状 ・ 課 題	築年数の経過している建物にかかる突発修繕が増えている状況です。					
改 善 の 方 策 等	利用者の安全第一の部分(ライフラインや空調機)を優先的に実施するよう配慮しながら進めていきます。					

【方向性】 II ー活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(5) 身近な学習施設の整備・運営			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①公民館の設置	地域教育支援課	B	B	B
	②既存公民館の整備・運営	中央公民館	B		
学識経験者等 学意見	なし				

細 施 策	①図書館サービスの充実							担当課	担当課評価
								中央図書館	B
施 策 の 内 容	市民のさまざまなニーズに対応した図書館サービスの向上を図る取組を推進します。また、図書館利用に障害のある人に配慮した図書館サービスに努めます。								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	市民の様々なニーズに対応した、多角的な観点からの資料の提供を推進します。また、図書館利用に障害のある人に配慮した図書館サービスのPRに努めます。								
令 和 2 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度は、本・雑誌・AV(視聴覚)資料の貸出しは1,251,481冊。</li> <li>障害者サービスでは、録音図書(1,413タイトル)や点字図書(61タイトル)の貸出しを行いました。また、心身等の障害のある方への郵送サービスでは、図書等(226点)の貸出しを行いました。</li> <li>令和3年2月より新たに電子書籍サービスを開始しました。1,766点導入し、2カ月間で2,211名が登録のべ3,085点の貸出がありました。</li> </ul>								
指 標 及 び 説 明	【指標】 図書館の貸出冊数				【説明】 市立図書館の本・雑誌・AV資料の貸出総数				
指 標 の 推 移	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
	冊	1,845,426	H27 1,848,799	H28 1,803,754	H29 1,758,562	H30 1,742,996	R1 1,536,555	R2 1,251,481	1,950,000
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸出冊数の実績値が、令和元年度実績値に対して、約18.6%減となっています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館の影響もあり、進捗は順調ではありません。</li> <li>録音図書は、令和元年度(1,703タイトル)と比較して約82%と減りましたが、点字図書は、令和元年度(50タイトル)と比較して約122%、郵送サービスでは、令和元年度(68点)と比較して約332.4%と増えました。</li> </ul>								
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の様々なニーズに対応した、多角的な観点からの資料の提供を推進します。</li> <li>障害者サービスの利用者が増えたこともあり、さらに配慮した図書館サービスのPRに努めます。</li> <li>電子書籍サービスについて、PRに努め、利用の拡大を推進します。</li> </ul>								

細 施 策	②図書館資料・情報提供サービス機能の充実							担当課	担当課評価
								中央図書館	A
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な市民要望に応えるため、充実した図書館サービスを実施する上で必要となる各分野の資料収集に努めます。</li> <li>市民の学習・研究活動支援の充実を図るため、他の図書館等との連携や情報の提供サービス機能の充実に努めます。</li> </ul>								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	4館が連携し、引き続き、蔵書の充実に努めるとともに、資料の収蔵能力を拡充する方策を更に検討していきます。また、デジタルアーカイブの公開点数を増やしていきます。								
令 和 2 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>蔵書数は中央図書館499,032冊、西図書館182,969冊、川越駅東口図書館73,322冊、高階図書館122,140冊で、4館合計877,463冊です。</li> <li>デジタルアーカイブでの郷土資料の公開点数を3点増やし、合計11点としました。</li> <li>情報提供サービスでは、利用者に図書や参考調査の支援を、年度合計6,252件(中央図書館)提供しました。</li> </ul>								
指 標 及 び 説 明	【指標】 図書館の蔵書数				【説明】 市立図書館の蔵書総数(視聴覚資料含むが、新聞・雑誌は除外)				
指 標 の 推 移	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
	冊	836,315	H27 843,893	H28 852,908	H29 858,306	H30 864,689	R1 869,524	R2 877,463	860,000
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度実績は、877,463冊で、目標値を達成しており、順調に進捗しています。</li> <li>資料の収蔵については、100箱分の予算がついたため、文書保管集配業務委託に預ける資料を選定し、保管手続きを行います。</li> </ul>								
改 善 の 方 策 等	4館が連携し、引き続き、蔵書の充実に努めるとともに、資料の収蔵能力を拡充する方策を更に検討していきます。また、デジタルアーカイブの公開点数を順次増やしていきます。								



【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】(6)市立図書館の充実

細 施 策	③図書館を活用した学習活動の推進							担当課	担当課評価
								中央図書館	B
施 策 の 内 容	幅広い世代で構成される市民の、多様な学習活動に即した講座や講演会等の事業を推進します。								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	引き続き、多様な学習活動に即した講座や講演会等の事業を開催します。								
令 和 2 年 度 績 実	乳幼児から児童を対象とした夏休み工作教室、夏のおはなし会、夏休み子ども点字教室、ちょっとこわいおはなし会、秋のとくべつおはなし会、クリスマスおはなし会や、DAISY編集研修、DAISY編集実践研修、バリアフリー映画会等を開催しました。								
指 標 及 び 説 明	【指標】 図書館の事業開催回数				【説明】 各種おはなし会や講演会など市立図書館が主催する図書館を活用した事業の開催回数				
	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
指 標 の 推 移	回	456	H27 472	H28 479	H29 501	H30 509	R1 468	R2 166	470
現 状 ・ 課 題	新型コロナウイルス感染症拡大防止による緊急事態宣言の発出や休館等で開催が少なかったですが、その中でも少ないながら開催することができました。								
改 善 の 方 策 等	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、引き続き、多様な学習活動に即した講座や講演会等の事業を開催します。								

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】2 生涯学習活動の推進

施 策 の 柱	(6)市立図書館の充実				
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①図書館サービスの充実	中央図書館	B	B	
	②図書館資料・情報提供サービス機能の充実	中央図書館	A		
③図書館を活用した学習活動の推進	中央図書館	B			
学 識 経 験 者 等 意 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者サービスの利用者が増えたということであるが、様々な意見を聞くよい機会なので、聞き取りなどでニーズを把握し、それに近づけるようなものを取り入れられるとよいと考える。</li> <li>・電子書籍についてはよい取組だと思うので、ホームページでも見つけやすいところに持ってきていただきたい。</li> <li>・図書館がその街にあるということを中心に考えて、充実した活動をしていただきたい。</li> </ul>				B

細 施 策	①展示機能の充実							担当課	担当課評価
								博物館	C
施策の内容	常設展示の見直しを検討し、新たな学術的成果やより学びやすい展示手法を展示に反映できるように研究を進め、展示機能の充実を図ります。								
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、中長期的な常設展示室の改修をめざし、具体的な展示案を検討するとともに、短期的に実現可能な展示資料の入れ替え・故障した映像機器の修理等を実施します。</li> <li>・今後も展示室の改修に向けての準備作業を行うとともに、来館者の誘致に向けての観光導線の検討・情報発信を進めます。</li> <li>・企画展・特別展は市民・来館者の関心・興味を把握し、常設展示に反映できる内容でのテーマ設定を検討します。</li> </ul>								
令和2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、企画展は開催せず館蔵資料を中心として「川越市立博物館の30年」「館蔵刀剣大公開!」を開催しました。</li> <li>・常設展示の見直しについては、館蔵資料の中からこれまであまり展示されていない資料の入れ替え展示を行いました。また、経年劣化により故障した映像機器等の修繕を行いました。</li> <li>・博物館入館者数は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館等によって21,105人となり、前年度と比べて56,351人の減少(前年比27.2%)となりました。</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 博物館の入館者数				【説明】 博物館の年間入館者数				
指標の推移	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
	人	98,205	H27 98,025	H28 96,516	H29 89,563	H30 89,154	R1 77,456	R2 21,105	100,000
現状・課題	<p>令和2年度の博物館の入館者数は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館により、21,105人と前年度と比べて56,351人の減少となりました。また、時節に応じて企画した「新春を寿ぐ 押絵羽子板展」は緊急事態宣言の発出に伴い臨時休館となったため、開催できませんでした。</p> <p>こうした状況下においても、来館者に博物館の展示・資料の魅力をアピールできるような手法の開拓が課題と考えます。</p>								
改善の方策等	臨時休館中も小・中学校の学習に利用でき、再開後の集客につながるような展示・館蔵資料の情報をインターネットやツイッターを通じて発信することについて検討します。								

細 施 策	②郷土資料の収集・保存							担当課	担当課評価
								博物館	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川越の歴史と文化に係る資料収集に努めるとともに、その保存と活用を図ります。</li> <li>・資料を保存する収蔵庫については、収蔵能力が不足しているため、効率的な収蔵保管に努めるとともに、新たな収蔵施設の確保を検討します。</li> </ul>								
前年度の改善の方策等	貴重な郷土の歴史資料について計画的な収集に努めるとともに、館内の収蔵環境が良好に保てるよう物品・資料の効率的な収納を進めます。また、恒常的な収蔵スペースの確保に向け、さらに検討を行います。								
令和2年度実績	令和2年度は寄贈資料366点を受け入れ、収蔵資料の累計は39,283点となりました。また、館内の資料保存環境を整えるため収蔵庫を中心に資料・物品の整理を行いました。このうち、使用頻度の低い物品・資料については旧あけぼの・ひかり児童園へ移動しました。								
指標及び説明	【指標】 博物館の収蔵資料点数				【説明】 博物館収蔵資料の累計点数				
指標の推移	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
	点	37,746	H27 37,816	H28 37,985	H29 38,161	H30 38,619	R1 38,917	R2 39,283	40,000
現状・課題	<p>令和2年度は366点の寄贈資料を受け入れ、収蔵資料点数は着実に増加し、博物館資料の収集・保存はおおむね順調に進捗しています。また、毎日時間を決めて館内の物品の整理と収蔵庫内の資料の整理と調査を行いました。これにより、良好な収蔵環境の整備が進展するとともに、将来展示に活用可能な収蔵資料を確認することができました。</p> <p>今後も同様の作業を続けていくことが課題であると考えます。</p>								
改善の方策等	今後も貴重な郷土の歴史資料について計画的な収集に努めるとともに、館内の収蔵環境が良好に保てるよう物品・資料の効率的な収納を進めます。また、恒常的な収蔵スペースの確保に向け、さらに検討を行います。								

細 施 策	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化							担当課	担当課評価
								博物館	B
施策の内容	・市民の多様な学習要求に対応できるよう、講座・教室など教育普及事業の充実を図ります。 ・小・中学校等との連携を進め、学校の教育課程に位置付けた博物館活用の充実を図ります。								
前年度の改善の方策等	講座等の事業については、引き続き参加者の満足度が高くなる内容となるよう改善を進めます。また学校利用について、学校数増加の結果となりましたが、利用時の館内混雑や一般来館者向け解説との重複などの問題が生じていることから、受け入れ時間の工夫などによりこれらの解消に努め、来館者にとって満足度の高い博物館利用となるよう取り組みます。								
令和2年度実績	・新型コロナウイルス感染症の影響により、大人向け事業の実施がなくなり、また、子ども向け事業について3事業のみの実施となりましたが、参加者数は41人で満足度は97.3%となりました。 ・教育活動の一環として博物館を利用した学校についても、新型コロナウイルス感染症の影響により、市内延べ7校585人、市外延べ52校5,144人で、総計59校5,729人となりました。しかし、案内解説に代わるパワーポイントを作成し、川越見学の資料として活用いただくことができました。また、市内28校に対しては出前授業を実施することができ、利用した多くの学校から高い評価を得ることができました。								
指標及び説明	【指標】 ①博物館講座・教室受講満足度 ②教育課程に位置付けた博物館活用の学校数				【説明】 ①受講者アンケートにおいて「大変よかった」及び「よかった」と回答のあった割合 ②小・中学校等の博物館活用の年間学校数				
指標の推移	単位	基準値(H26)	実績値					目標値(R2)	
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	
	① %	95.3	95.1	93.1	95.0	93.7	97.0	97.3	97.0
② 校	358	354	376	349	362	384	59	370	
現状・課題	令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、教育普及関連業務を例年のように実施することができず、学校利用数についても減少しました。こうした状況下においても、実情に合わせた事業体制を築いていくことが課題と考えます。								
改善の方策等	引き続き新しい生活様式に合わせた対応をしながら、利用者にとってより満足いただける質の高い事業の充実を努めます。								

細 施 策	④博物館・蔵造り資料館の整備							担当課	担当課評価
								博物館	B
施策の内容	社会教育施設、文化財及び観光拠点施設としての機能を充実させるため、博物館・蔵造り資料館の整備を図ります。								
前年度の改善の方策等	・博物館の機能を十分に発揮し、施設を適切に維持・管理していくため、老朽化が著しい箇所から順次修理を進めていきます。 ・蔵造り資料館については、事業方針に基づき、工事担当部署等と連携して工事の再開を目指します。								
令和2年度実績	・博物館については、不具合のあった常設展示室の映像機器、館内誘導灯、老朽化した荷受室の重量シャッターの修理と、吸収冷温水機の応急的修理(令和3年度に本格的修理の実施予定)を行うなど、来館者への影響が大きい箇所、博物館機能に関わる箇所を優先に修理を行いました。 ・蔵造り資料館については、事業方針に基づき、工事途中であった店蔵、添屋及び住居棟について調査、解体を行い、解体部材を保管しました。								
成果実績	項目名(単位)		H30		R1		R2		
	施設・設備の修繕件数(件)		8		5		12		
現状・課題	・博物館については、機能を維持するための修理を実施してきました。施設の老朽化にともなう修理を必要とする箇所を多く抱えている状況ですが、必要な修理については実施されており、おおむね順調に進捗しています。 ・蔵造り資料館については、事業の長期化は避けられない状況ですが、事業方針に基づきおおむね順調に進捗しています。								
改善の方策等	・博物館の機能を十分に発揮し、施設を適切に維持・管理していくため、老朽化が著しい箇所から計画的に修理を進めていきます。 ・蔵造り資料館については、事業方針に基づき、関係部署等と連携して耐震化を進めていきます。								

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(7) 博物館の整備・充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①展示機能の充実	博物館	C	B	B
	②郷土資料の収集・保存	博物館	B		
	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	博物館	B		
	④博物館・蔵造り資料館の整備	博物館	B		
学識経験者等 意見	出前授業についてはとてもよい取組だと思つので、今後も継続していただきたい。				

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】(8)高等教育機関との連携の推進

細 施 策	①高等教育機関との連携体制の充実				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	C
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会の発展と人材育成に寄与するため連携体制を整えます。</li> <li>・教育、文化、まちづくり等の分野において市内の大学等と協力します。</li> </ul>					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	市と大学との連携体制をより深めるために、双方の協議事項を調査、調整し、形式的な会議ではなく、より実務に即した会議を開催できるよう努めます。					
令 和 2 年 度 績 実	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は市内大学との連携会議は中止としました。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H30	R1	R2		
	川越市の連携会議参加課所数(延べ)	8	10	開催中止		
現 状 ・ 課 題	新型コロナウイルス感染症対策を徹底した形で、市と大学の双方が安心して会議を行える状況をつくる必要があります。また、令和3年度以降、市内大学と連携会議を行えるよう協議を行いました。					
改 善 の 方 策 等	市と大学の双方が安心して会議に参加できるよう、新型コロナウイルス感染症対策の徹底に努めます。また、実務に即した会議を開催できるよう努めます。					

細 施 策	②共催による講座等の充実							担当課	担当課評価
								文化芸術振興課	C
施 策 の 内 容	市内4大学との連携により、各大学の特徴を生かした講座を開催し、高度で体系的な生涯学習の機会の拡充を図ります。								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	受講者アンケートの結果をさらに分析し、各大学の特徴と市民ニーズを踏まえた講座を実施することで、より多くの市民に受講してもらい、市民の生涯学習の機会拡充に努めます。								
令 和 2 年 度 績 実	市内4大学と大学間連携講座の実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。また、来年度の再開に向けて協議を行いました。								
指 標 及 び 説 明	【指標】川越大学間連携講座の受講者数				【説明】市内4大学との連携・協働による川越大学間連携講座の合計受講者数				
指 標 の 推 移	単位	基準値(H26)	実 績 値					目標値(R2)	
	人	251	H27 362	H28 193	H29 255	H30 199	R1 122	R2 開催中止	280
現 状 ・ 課 題	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、受講者と大学の双方が安心できる講座を行う必要があります。								
改 善 の 方 策 等	新型コロナウイルス感染症対策を徹底した講座を開催できるよう努めます。また、より多くの市民に受講してもらえるよう、アンケートの結果や学習ニーズについて、大学と情報を共有し、大学の特徴を生かした連携講座の実施と広報活動に努めます。								

【方向性】 II ー 活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(8) 高等教育機関との連携の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	① 高等教育機関との連携体制の充実	文化芸術振興課	C	C	C
	② 共催による講座等の充実	文化芸術振興課	C		
学識経験者等 意見	<p>・連携会議はオンラインでもできるのではないかと考える。                  ・大学は研究機関でもあるので、コロナ対策についてもお互いに問題点を出しながら連携していくことで、市の施策にもつなげていくことができると考える。</p>				